

## 当院における膵癌術前補助化学療法を導入と短期成績の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

### 研究の目的と方法

切除可能膵癌の治療では、近年術前化学療法の有用性が示され、標準治療として位置づけられるようになりました。今回、特に高齢の膵管患者さんに着目し、当院の切除可能膵癌患者さんに対する術前化学療法の現状と周術期の短期成績について検討します。

診療を通じて得られた情報のみを使用し、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

### 研究の対象となる方

2015年4月～2023年5月に膵癌に根治切除を行った患者さんのうち、ゲムシタビンとS1、もしくはゲムシタビンと nabPTX による術前化学療法を受けられた方

### 使用する試料・情報

年齢、性別、入退院日、手術記録、術後合併症の有無、合併症の程度、術後化学療法の有無 など  
使用開始予定日：2024年10月23日

### 研究予定期間

2024年10月23日～2026年3月31日

### 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 遊佐俊彦

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

### 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 遊佐俊彦

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)